

III 一～五類 全数把握感染症

1. 一類感染症

全国、大阪府とも発生はなかった。

2. 二類感染症

結核以外の二類感染症は、全国、大阪府とも発生はなかった。

結核については、下記ホームページを参照されたい。

(財) 結核予防会結核研究所 疫学情報センター

<http://www.jata.or.jp/rit/ekigaku/>

(文責：本村)

3. 三類感染症

●コレラ

大阪府内では、コレラの発生はなかった。

●細菌性赤痢

届出数は10例あり、このうち輸入例は6例で推定感染地域はフィリピンが2例、タイが1例、インドが1例、カンボジアが1例、不明（ミャンマー或いはタイ）が1例であった。患者の症状は、無症状であった2例以外の8例については、全例で下痢、6例で発熱、3例で腹痛、2例で血便がみられた。

●腸チフス

4例の届出があり、このうち輸入例は3例で推定感染地域はネパールが1例、パキスタンが1例、不明（タイ、インドネシア或いは中華人民共和国）が1例であった。患者の症状は、全例で高熱及び下痢を呈し、2例で脾腫、1例で腸出血が見られた。

●パラチフス

大阪府内では、パラチフスの発生はなかった。

(文責：川津)

2019年 3類感染症週別発生状況

コレラ

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府																											
大阪市																											
堺市																											
高槻市																											
東大阪市																											
豊中市																											
枚方市																											
八尾市																											
寝屋川市																											
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

細菌性赤痢

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	
大阪府																					1						1	
大阪市																									1			
堺市																												
高槻市																												
東大阪市																												
豊中市																					1							
枚方市																												
八尾市																												
寝屋川市																												
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0

腸管出血性大腸菌感染症

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	
大阪府		1		1			1	1		1				1	2	1			1	1	3	1				3	1	
大阪市							1	1			1									2	5	3	2			6	1	3
堺市								1																				
高槻市															1						1	1		1				
東大阪市					1																							
豊中市									1	1		1		2	1												1	
枚方市																										1	1	
八尾市																											1	
寝屋川市																					2					1		
合計	0	1	0	1	1	0	2	4	1	1	1	1	0	3	3	2	0	0	1	4	11	4	3	1	9	2	7	

腸チフス

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府																											
大阪市																											
堺市																											
高槻市									1																		
東大阪市																											
豊中市																						1					
枚方市																											
八尾市																											
寝屋川市																											
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0

パラチフス

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府																											
大阪市																											
堺市																											
高槻市																											
東大阪市																											
豊中市																											
枚方市																											
八尾市																											
寝屋川市																											
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週		
																										0	
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週		
							1		2																		6
															1					1							3
																											0
																											0
																											1
																											0
																											0
																											0
																											0
0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	10

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	
	2	7	4	3	2	4	3	3	1	1		4	1		1		1		2		1					59
	3	3	4	3	1	4	4	2	1	1	2	4		1		1		2		1	6	2		1		71
		1					1								1	1				1						6
			1	1	1					5	4		1								1					19
					2					1		1		1												6
	1		1			2			1	1	1								1							15
								1		1	4										1					9
	1																					1				3
						2																				5
5	6	13	10	6	8	9	8	10	9	8	5	5	3	0	3	1	1	3	4	3	7	2	0	1		193

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週		
																											1
																											0
																											1
																											1
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週		
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

●腸管出血性大腸菌感染症

患者 131 例、無症状保菌者 62 例の計 193 例が診断された。年間を通しての発生状況については、例年同様に5月から9月に多発した（図1）。感染者の年齢は0歳～9歳が最も多く、次いで、20歳代、10歳代、30歳代の順で多かったが、男女間での有症率に大きな違いは、認められなかった（図2）。なお、HUS患者の報告は7例（有症者の5.3%）あり、昨年（有症者の4.0%）と同程度の発生率であった。

（文責：川津）

図1 腸管出血性大腸菌感染症 週別発生状況 2019年1～52週

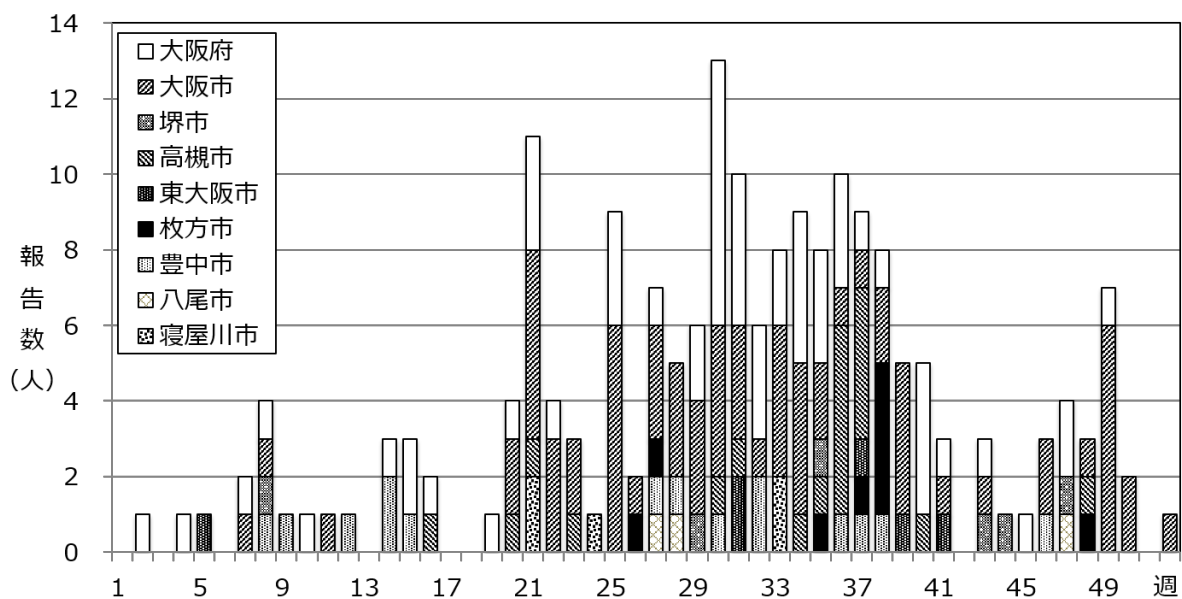
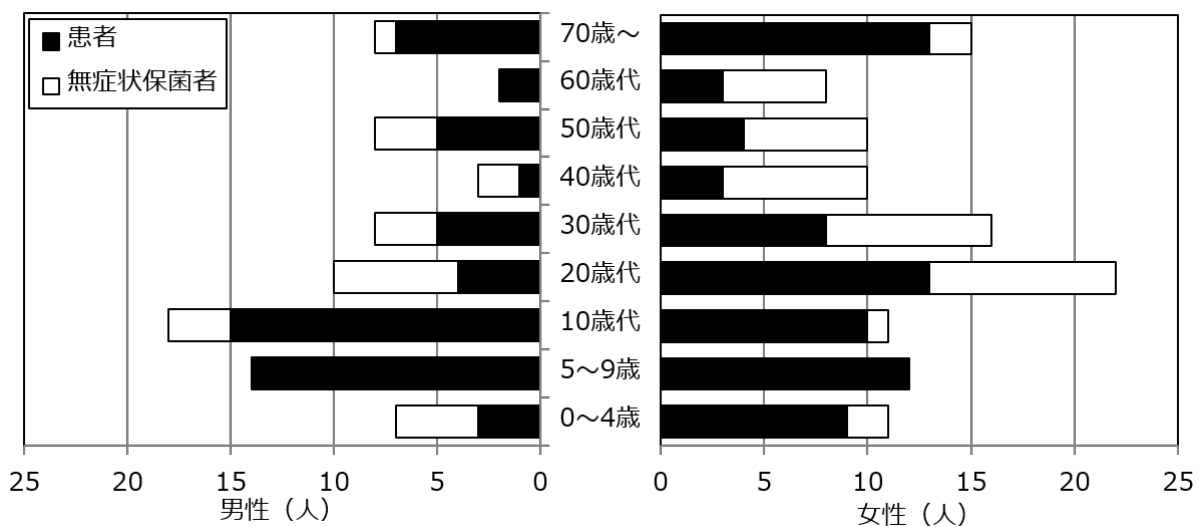


図2 腸管出血性大腸菌感染症 年齢別発生状況 2019年1～52週



4. 四類・五類感染症（全数把握分）

2019年、大阪府における四類・五類感染症の届出数は、33疾患3,399例であった。2018年の31疾患3,574例に比べて2疾患増加したが、届出数は175例の減少であった(表1)。

表1 四類・五類全数把握感染症届出数

種別	疾患名	届出数	大阪府内計	全国計
四 類	E型肝炎		5 (8)	493 (442)
	A型肝炎		23 (50)	425 (925)
	エキノкокクス症		0 (0)	24 (12)
	オウム病		2 (0)	13 (6)
	回帰熱		0 (0)	7 (6)
	Q熱		0 (0)	2 (3)
	コクシジオイデス症		0 (1)	2 (2)
	ジカウイルス感染症		0 (0)	3 (5)
	重症熱性血小板減少症候群		0 (1)	101 (77)
	チクングニア熱		4 (0)	49 (5)
	つつが虫病		1 (2)	404 (455)
	デング熱		53 (21)	461 (201)
	日本紅斑熱		8 (8)	318 (303)
	日本脳炎		0 (0)	9 (0)
	ダニ媒介脳炎		0 (0)	0 (1)
	ブルセラ症		0 (0)	2 (3)
	ポツリヌス症		0 (0)	3 (2)
	マラリア		4 (7)	57 (50)
	野兔病		0 (0)	0 (0)
	ライム病		0 (1)	17 (13)
類鼻疽		0 (0)	2 (2)	
レジオネラ症		133 (134)	2,314 (2,130)	
レプトスピラ症		0 (1)	32 (31)	
	四類合計		233 (234)	4,738 (4,674)
五 類	アメーバ赤痢		75 (79)	851 (838)
	ウイルス性肝炎		19 (15)	330 (269)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		200 (196)	2,333 (2,253)
	急性弛緩性麻痺		3 (6)	77 (139)
	急性脳炎		30 (29)	959 (657)
	クリプトスポリジウム症		2 (0)	19 (19)
	クロイツフェルト・ヤコブ病		8 (13)	193 (219)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		68 (34)	926 (687)
	後天性免疫不全症候群		139 (154)	1,233 (1,292)
	ジアルジア症		6 (6)	53 (68)
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		44 (71)	543 (483)
	侵襲性髄膜炎菌感染症		7 (4)	48 (37)
	侵襲性肺炎球菌感染症		279 (279)	3,342 (3,299)
	水痘(入院例)		20 (32)	492 (461)
	先天性風しん症候群		1 (0)	4 (0)
	梅毒		1,101 (1,188)	6,639 (6,923)
	播種性クリプトコックス症		9 (6)	156 (178)
	破傷風		3 (2)	126 (1,310)
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		32 (24)	80 (79)
	百日咳		836 (1,066)	16,846 (11,947)
風しん		132 (123)	2,306 (2,917)	
麻しん		149 (15)	746 (282)	
薬剤耐性アシネトバクター感染症		3 (0)	24 (24)	
	五類合計		3,166 (3,342)	38,326 (33,201)
	合計		3,399 (3,574)	43,064 (37,874)

()内は2018年のデータ

四類感染症の届出数は9疾患 233例であった。報告疾患数9疾患は前年と比べ2疾患、減少になっており、前年届出がなかったオウム病、チクングニア熱について報告があった(表 1)。また、前年届出があったコクシジオイデス症、重症熱性血小板減少症候群、ライム病について報告がなかった。

四類感染症の届出数は1例、減少してした。増加した疾患のうち、チクングニア熱は4例の届け出があり、前年の0に比べて、4例の増加であった。デング熱は、53例の届け出があり、前年21例に比べて2.5倍となった。2019年は、東南アジア、南米で、デング熱、チクングニア熱の大流行が認められ、海外旅行者による輸入感染事例が増えたことが原因だと考えられる。減少した疾患のうち、E型肝炎は8例の届出があり、前年に比べ3例、A型肝炎は23例の届け出があり、前年に比べ27例の減少であった。マラリアは4例の届け出があり、前年の7例に比べて3例の減少である。

五類感染症の届出数は24疾患 3,166例であった。前年に比べ176例の減少であった。増加した疾患のうち、ウイルス性肝炎は19例の届出があり、前年の15例に比べて4例の増加となった。カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症は200例の届出があり、前年の196例に比べて4例の増加となった。劇症型溶血性レンサ球菌感染症は68例の届出があり、前年の34例に比べて2倍増加している。侵襲性髄膜炎菌感染症は、7例の届出があり、前年の4例に比べ3例増加していた。播種性クリプトコッカス症は、9例の届出があり、前年の6例に比べ3例増加している。バンコマイシン耐性腸球菌感染症は、32例の届出があり、前年の24例に比べ8例増加していた。風しんは、2018年に流行した後、2019年の3月まで、報告が相次ぎ、前年より、9例増加の132例の届け出があった。麻しんについて、大幅に増加しているが、別項で後述する。薬剤耐性アシネトバクター感染症は、前年報告がなかったが、3例の報告があった。

減少した疾患のうち、アメーバ赤痢は75例の届出があり、前年の79例に比べ減少した。急性弛緩性麻痺は、3例の届出があり、前年より3例の減少である。また、後天性免疫不全症候群は139例の届出があり、前年の154例に比べて15例の減少となった。侵襲性インフルエンザ菌感染症は44例の報告があり、前年より27例の減少である。水痘(入院)は20例の報告があり、前年より12例の減少である。梅毒は1,101例の報告があり、前年1,188例より、87例の減少であった。2018年より、全数把握感染症になった百日咳は、836例であり、230例の大幅な減少であった。

五類感染症で届出数の多い5疾患について、大阪府内を大阪府管内、大阪市、堺市、高槻市、東大阪市、豊中市、枚方市、八尾市、寝屋川市に区分して再掲する(表 2)。カルバペネム耐性腸内細菌感染症は、大阪市、堺市、高槻市、東大阪市、枚方市、八尾市で増加した。後天性免疫不全症候群は、大阪市が123例から107例に減少していた。また、侵襲性肺炎球菌感染症は、大阪府管内で減少している。梅毒は、大阪府管内、八尾市の区分で届出数が増加し、大阪府管内では159例が179例に、八尾市では20例が25例に増加した。百日咳は、大阪府管内で著明に、442例から240例と減少していた。

全国の2019年における四類・五類感染症の届出数を見ると、43,064例で前年の37,874例と比べて5,190例の増加となっている。主に、四類感染症で増加した疾患は、重症熱性血小板減少症候群が77例から101例に、チクングニア熱が5例から49例に、デング熱が201例から461例に、レジオネラ症が2,130例から2,314例に、それぞれ増加していた。五類感染症では、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が2,253例から2,333例に、急性脳炎が657例から959例に、劇症型溶血性レンサ球菌感染症が687例から926例に、百日咳が11,947例から16,846例に、麻しんが282例から746例にそれぞれ増加している。

一方、減少した主な疾患について見ると、四類感染症では、A型肝炎が925例から425例、に減少していた。五類感染症では、急性弛緩性麻痺が139例から77例、梅毒が6,923例から6,639例、百日咳が2,917例から2,306例に減少していた。

(文責：本村)

表2 大阪府、政令中核市保健所別五類全数把握感染症届出数(再掲)

疾患名	大阪府内再掲								
	大阪府管内	大阪市	堺市	高槻市	東大阪市	豊中市	枚方市	八尾市	寝屋川市
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	46 (47)	67 (60)	65 (51)	46 (12)	7 (2)	9 (11)	11 (1)	14 (12)	1 (-)
後天性免疫不全症候群	12 (17)	107 (123)	7 (4)	3 (3)	0 (4)	4 (1)	5 (2)	0 (0)	1 (-)
侵襲性肺炎球菌感染症	92 (105)	98 (97)	41 (33)	12 (11)	11 (9)	0 (4)	19 (14)	5 (6)	1 (-)
梅毒	179 (159)	773 (864)	43 (58)	8 (19)	32 (33)	14 (8)	22 (27)	25 (20)	5 (-)
百日咳	342 (326)	240 (442)	78 (35)	23 (63)	49 (35)	48 (49)	37 (83)	12 (33)	7 (-)

()内は2018年のデータ

●麻しん

2019年、大阪府において、麻しんの4件の集団発生事例が発生した。届出数は149例であり、前年の15例に比べ、約10倍の増加となった(表3)。ブロック別では大阪市が63例、豊能ブロックが31例であった(表3)。週別届出数は第7週の28例で最も多かった(図)。

2015年3月、WHO(世界保健機関)西太平洋事務局より、日本は麻しんの排除状態にある認定を受けていたが、海外への渡航者と海外から来日する外国人の増加に伴い、日本国内での麻しんの発生に対する注意は今後も必要であり、ワクチン1回接種世代の30歳台へのワクチン接種の徹底などの対策が求められる。

(文責：本村)

麻しん週別報告状況

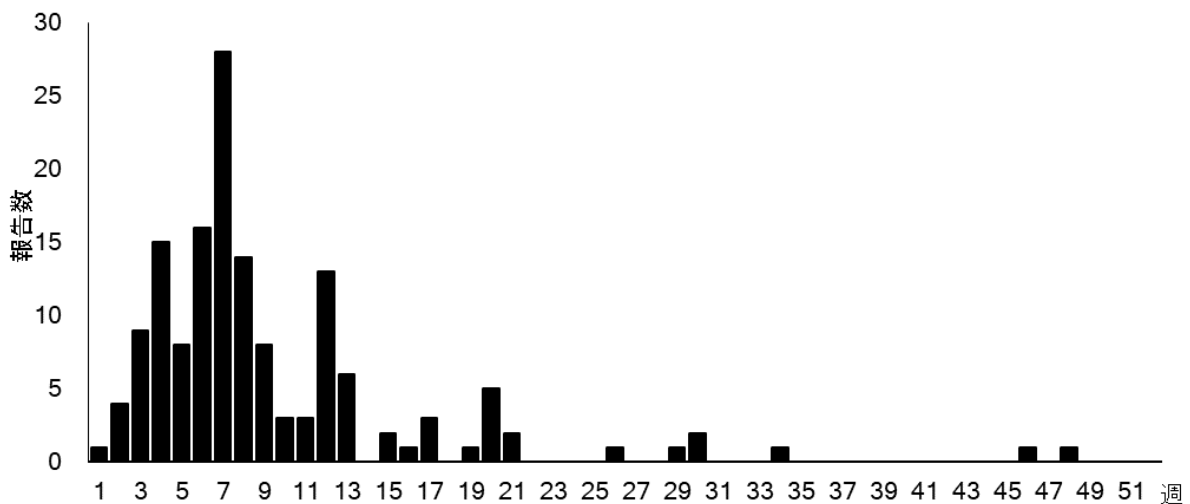


表3 麻しん ブロック別・年齢別報告状況

ブロック	6か月未満	12か月未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	合計
豊能	2					1	1			1		3	4	19	31
三島			1			1				1		1		15	19
北河内												1			1
中河内														4	4
南河内														3	3
堺市													2	10	12
泉州			1				1				1		5	8	16
大阪市		1	1								1	5	8	47	63
合計	2	1	3	0	0	2	2	0	0	2	2	10	19	106	149